

## 第42回 愛別町雪中ソフトボール大会 車イス用ルール

愛別町雪中ソフトボール大会競技要項に則り、ゲームを行うことを基本としますが、車イス等の選手の登録がある場合は、楽しく競技に参加していただけるように別途ルールを設けます。

1. 通常は、圧雪していないグラウンドで行うが、内野部分のみ圧雪した状態でゲームを行う。
2. 通常のチーム編成は、15名以内としているが車いす等での参加の場合は、車いす等の参加者の人数分多く登録することができる。また、車いすの選手は、40歳以上・女性の選手としてみなす。
3. 出場選手は、10名だが、車いす等での出場者を補助するための守備又は走塁をかわりに行うだけの選手の出場を認める。(補助者が打席に立つ場合は、選手の交代とみなし、通常のルールに乗っ取らなければならない。)なお、車いすの選手が、打者で3塁までの走塁ができない時は、主審の後方から走塁することを認める。
4. 車いすの選手が守備につく場合は、グローブのかわりに、エコロベースで使用するグローブ「エコロミット」の使用を認める。
5. 車いすの選手が走塁した場合のベースへの触塁については、ベースに直接触れることができない場合もあることから、次のベースとの延長線上を通過した時点で触塁したとみなす。また、守備でのベースタッチについては、ベースから半径50cm程度にタイヤがある場合はベースタッチと認める。
6. その他プレー中に適当でないと認められる場合は、協議して決定する。